

平成18(2006)年度 夏休み特別展示

吹田の景観を掘りおこす

平成18年(2006年)8月5日(土)～9月10日(日)

200万年前、千里丘陵にゾウがいた頃から江戸時代の庄屋屋敷、さらに現代までの吹田の景観の変遷をたどります。

あわせて平成17年度に行った発掘調査等の成果を紹介します。

開館時間／午前9時30分～午後5時

休館日／月曜日

観覧料／大人 200円(160円)

高校・大学生 100円(80円)

小・中学生 50円(40円)

* 市内在住の65歳以上の方は100円。

* 市内の小・中学生は「ぐるっとすいた」カードを持参するか、土曜日に来館する場合は無料。

* ()内は20名以上の団体割引料金。



《交通案内》

- JR吹田駅・阪急千里線吹田駅から
桃山台駅前ゆき・山田樫切山ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分
阪急山田ゆき・千里中央ゆきバス「岸部」下車徒歩10分
- JR吹田駅北口から
五月が丘南ゆきバス「五月が丘西」下車徒歩7分
- 阪急千里線南千里駅から
JR吹田ゆきバス②③系統「佐井寺北」下車徒歩10分
- JR東海道本線岸辺駅下車北西徒歩25分
- 車でのご来館は、佐井寺北・五月が丘方面からお願いします。

このチラシは、3,000部作成し、1部あたりの単価は10円です。

●講演会(聴講無料・当館講座室)

8月13日(日)午後2時～3時30分

「古代文明を壊した塩」

総合地球環境学研究所教授 佐藤洋一郎氏

8月27日(日)午後2時～3時30分

「縄文海進と日本沈没」

吹田市立博物館館長 小山修三
ゲスト：作家 小松左京氏

9月3日(日)午後2時～3時30分

「吹田にゾウがいたころ」

吹田地学会副会長 安部亮介氏

* いずれも定員120名先着順

●シンポジウム(聴講無料・当館講座室)

9月10日(日)午後1時～5時

「景観史の視点からみた日本」

「何度も起きた『日本沈没』」

総合地球環境学研究所助教授 内山純蔵氏

「商品化する景観：近世以降の近江の事例から」

総合地球環境学研究所 研究支援推進員 カティ・リンドストロム氏

「近世・近代日本都市部の妖怪と幽霊」

県立高知女子大学文化学部助教授 高岡弘幸氏

「生者の村と死者の村」

國學院大学文学部兼任講師 中村 大氏

「吹田の景観を掘り下げる」

吹田市立博物館館長 小山修三

* 定員120名先着順

吹田市立博物館

<http://www.suita.ed.jp/hak/index.html>

〒564-0001 吹田市岸部北4丁目10番1号

TEL. 06-6338-5500 FAX. 06-6338-9886